

(12キロの競歩 香山中)

### 愛誦歌一首

あかあかと 一本の道とほりたり  
 たまきはる 我が命なりけり

(齋藤茂吉)

力強く真剣に

生きたいものです

愛知県教育委員

桑子好次

昭和49年2月1日

編集・発行

岡崎市教育委員会

やさしくきびしく

— 恩師の徳を偲ぶ —

梅田章次

— 教育随想 —

自分が年をとり年長ということで、後輩や事業場の従業員を指導する立場になった今、恩師のことがしきりと思い出される。

私は昭和三年の春、連尺小学校を卒業した。当時の校長は、名校長の河合松蔵先生で、在職期間も歴代校長で一番長かったようである。

小学校も五、六年になると、修身訓話には専ら校長先生の担当となるようになっていった。河合校長は、小柄なからだで温和な方であったが、訓話を始められると目がキラキラ光るような感じを受けた。

五年生の夏ごろだったと思うが、訓話をよそに、私は本を机の上へ放り出していた。先生は熱中していた。先生は訓話を続けながら、私の机の後ろへ回り込んでこられ、本を片手で取り上げ、私の手に持たせながら、何ごともなかったように教壇にもどられた。

その時は子ども心にも非常に恥ずかしく、真っ赤になって身の置き所に苦しんだにが経験がある。

河合先生は、「修身のお話をする時は、特に早く起き、冷水でからだを清め、き

ようはこのようなことを子どもたちに話しますと、心にしっかりと誓ってから学校へ来る。私も一生けんめいお話をするからみんなも真剣に聞きなさい。」と、リンとした声で言われ、腕白どもも身を固くして一斉に緊張したものである。

五年生の担当は、昨年物故された尾崎末一先生である。その当時は独身で、黒の詰袷を着ていたように思う。尾崎先生は陸上部を担当していた。教員の体育祭などに公園のグラウンドで走ったりして、大へん人気があった。

その先生が自分たちの担任となったので、内心得意であった。六年生になり、高学年らしく、クラスの自治会で活動写真や芝居へは一人で行かぬこと、父兄同伴でも先生の許可を受けて行くことという決議をして、教室の一隅へ掲示したことがある。

正月になってこの禁を破って、八帖の友だちと二人で伝馬の常盤館へ行き、そしらぬ顔でいたところ、先生に知られてしまった。



授業後二人だけ教室に立たされ残された。日が傾いて、枯葉がかさかさとして舞う音にもびくつきとして、ペソをかいていた。うす暗くなつてから先生が来られ、きまわりを守るといふことの大切さについて、律気なまでにこんこんととされた。

私たちは、再びこのようなあやまちを犯さないことを固く誓い、帰宅を許された。その時、「これを家の人に見せなさい。」と言われ、封書を預かった。帰って父に見せたが、父はただうなずいていただけで、一言もことを言わなかった。手紙の文面は、今もって不明であるが、疑問に思つて同窓会などで先生にお聞きしても、ニヤニヤしているだけで要を得ない。故人になつた今はきく術もない。特に印象に残っていることを記して、両先生の徳を偲んだ次第である。

(岡崎市PTA連絡協議会長)

いまはむかし



● 童話劇に花が咲く

「赤い鳥」に代表される童心芸術運動の影響は、童話劇の開花となつて現われた。低学年の「花咲爺」や「浦島太郎」等の演出には、一段と熱が入つたようである。大13年、岡田文相は、「特ニ学校ニ於テ脂粉ヲ施シ仮装ヲナシテ劇的動作ヲナサシメ公衆ノ観覧ニ供スルガ如キハ質実剛健ノ民風ヲ作興スルノ途ニ非ズ」という訓令を出しているほどである。

昭和10年を前後して、歴史・地理・理科の学習を取り入れた学習発表会に、新しい会のあり方を求めた学校もある。学芸会か学習発表会かと問いつけながらも、楽しい学校行事の一つにはかわりなかつたのである。

● 国旗や軍旗のはためく中で

日中戦争の頃から、戦意を高揚する劇が現われ始めた。「軍神広瀬中佐」や、「肉弾三勇士」等の上演に、会場は大いに湧いたという。しかし、学童動員の頃には、多くの学校は学芸会どころではなかつた。そんな時にも、多くの教師たちは紙芝居や童話の会をもうけ、童心を育

学芸会

# 「むだづかいをしない」

—井田小—

「むだづかいをしない」縦四メートルの看板が、井田小学校の正面玄関に、児童会のスローガンとして掲げられた。

かつて戦時中の国民学校当時「ほしがりません勝つまでは」の標語が思い出され、学校を訪れる父兄や、学区民の方々の目にとまり、話題となっている。

昨年来、石油危機・物価ねあげ、品切れは児童の学用品にまでひびき、身近かな問題として、学級会や児童会にとりあげられ、節約運動がおこってきた。「物を大切にしよう」「ぼくたちも節約しよう」の声は全校運動としてひろがり、三期の始業式とともに、次のような実践項目がきめられ実行にうつされた。

- ノートを大切に使いましょう。
- 鉛筆を削りすぎないようにしよう。
- 手洗いの水と石けん液を節約しよう。
- 紙屑をなくそう。
- 給食は残さず食べよう。
- 落とし物をなくそう。

節約の項目は目新しいことは別になく、当然実行されていなければならぬ事ばかりである。とりわけ、戦中戦後の非常時を耐えてきた我々からみると「節約は美德」を当然と考えるものであり今までの「消費は美德なり」の風潮にいきどおりすら感ぜられる。物資節約運動が単なる流行語に終わらず、生活改善の鉄則として実践されるよう指導したい。

(井田小 高橋 孝)



## 節約運動

# 一円・五円硬貨回収

—城北中—

近頃の新聞をはじめ報道機関では、近年にないほど「儉約」「節約」の活字やことばが世間をにぎわしている。

この「儉約」「節約」は、昨秋から今年にかけて、日本ばかりでなく、世界中で声を大にして叫ばれており、石油や石油製品の品不足に端を発し、生活物資の不足にまでエスカレートしてきた。

学区を岡崎市の中心街・商店街にもつ本校では、一円硬貨五円硬貨の不足ということまでも耳にするようになった。

そこで早速、生徒会が先頭に立って一円・五円硬貨の回収交換運動を展開することにした。

当今の一円というと、だれもがあまり省みない風潮がある。古くから「一銭を粗末にする者は一銭に泣く」とも言われており、大切に扱うべき貴重な通貨である。その軽視されがちな一円を大切に扱うことにより、物不足の現在、物を大切に有効に取り扱う気持ちを養い、その上、学区の商店関係の方から大へん喜んでいただけ、一石二鳥の一円・五円硬貨の回収交換運動であった。

その結果、一円硬貨・五円硬貨あわせて二万七千八百三十二円という大金になり、生徒会室はまさに白銀の山といった観を呈した。一円と言えども大金であった時代もあつたことや一枚の硬貨でも大切に扱うことの意味を語りながら整理する生徒たちの顔をみるにつけ、この運動のねらいは、達成されたと自画自賛したものである。

(一滴もむだにしないよ)

(城北中 斉藤 績)

てようと苦心したという。  
●一部の子からすべての子へ

戦後、学芸会はいち早く復活した。民主主義教育の波とともに、学芸会から演劇教育へと発展し、劇の傾向も生活劇や民話劇へと大きく変わっていった。

昭和26年、各学校一つの劇をもち寄り落合聡三郎氏の指導を受ける岡教組学校劇研究会が、梅園小で実施された。各学校から暗幕や袖幕をかき集めての会場設営。係りは、徹夜で幕の番をしたという。

翌年の学校劇講習会(岡崎小)では、演技指導を受けるまでになったが、講師の謝礼に四苦八苦。講習会は短命であった。しかし、教師の情熱が葵学区学校劇研究会を生んだように、講習会以上のものを結実させていったという。

中学校の演劇は、入試の激化とともに低調化していった。そんな情勢の中でも城北中は、三人の郷土の偉人を顕彰する劇を毎年発表している。それは、見る劇より、やることに意義のある劇ともいえる。矢作南小の劇「本多光太郎」も、伝統あるものとして知られている。

昨年の福岡小の、学区の民話、伝承、そして学校百年史で貫かれた学芸会は、全く新しい試みであった。子や孫もいない学区民もつめかけ、会場は大入満員。一つ一つの発表が、新たな素材発掘に展開していったという。

浅井修・岩月栄治・小笠原健治・山田利一先生のお話から。

出席者

古林英広 (岡崎警察署交通課長)  
 多々内誠治 (交通安全指導員連絡会 議長)  
 柴田徳長 (市交通安全係長)  
 山内一良 (六ツ美南部小学校長)  
 山田義男 (根石小教諭)  
 柴田徳三 (南中教諭)  
 山本ヤエ子 (岡崎小教諭)

## ○大きい学校差

山内 きょうは、毎日交通安全の立場から、市内の児童、生徒をいつも指導してくださる皆様や、施設、設備を担当してくださる方にお集まり願ひまして、皆様の立場から、学校側への率直な希望なり、助言をいただき、学校側の交通安全指導の参考にしたいと思ひます。

柴田 まず気の一つくことは、学校差が非常に大きいということです。熱心な学校は、校長さん自ら何度も足を運ばれて、安全施設などについてどんな希望される場所もありませんし、一方、地域の問題だからと、あまり関心を持っていただけない所も数多くあります。

山内 地域の問題と学校の問題の重なり合うところにむずかしい点がありますね。子どもの命を守るために、おとなが積極的にどう取り組むかということでご意見をうかがいたいと思ひます。

## ○安全指導の盲点

# 子どもの生命と安全をまもる

## 交通安全指導

山内 岡崎小学校は、交通安全指導をしっかりやっておられますが、交通安全の授業はどのようにやってみえますか。

山本 授業としては、月一回必ず交通安全指導を行なっております。ですから年間十一時間になります。

柴田(徳) 国語や算数と違って、覚えなければならぬ事項は、小学校一年から中学三年まで差がないということですね。

柴田 逆にいえば、おとなの中にも交通ルールを守らない者もいますしね。子どもが歩道橋を渡り、おとながその下を斜めに横断したりしましてね。

山本 交通安全は知識だけではだめで、それがいつも行動を伴わなければ意味がありません。

山内 たしかにそうです。現実の交通事

情が非常に複雑なので、実地にやってみることが大切です。井田小にある教室など大いに利用していただきたいね。

古林 学校が一体どのような交通安全指導を行なっておられるのか、疑問を持つ場合もあります。幼稚園児や小学校の低学年児童の事故の場合、道路の右側とは一体どちらなのか、よく知らなかったという例もあります。知識があっても実地訓練がないせいだと思います。もう一つ事故例をあげますと、自転車に乗って校庭で追いかけてこをしていて、急に校門から外へ飛び出し、出合いがしらに自動車にぶつかって重傷ということがありました。自転車に乗るのは結構ですが、安全性を身につけさせた上で扱わせたいと思ひます。

## ○これからの交通安全指導

山内 今までに学校から求められて指導に出られたことがありますか。

古林 少ないですね。学校周辺の裏道など一時閉鎖して自動車をはいらなくして、実際の道路でルールを教えることをやりたいと思っております。

山内 昨年末の石油問題の時から、事故件数も減少しているように聞きます。これをチャンスとして、指導を強化していく必要があります。警察の交通課や、いつも現場に立つておられる交通安全指導員の皆さんの力をお借りしたいと思ひます。

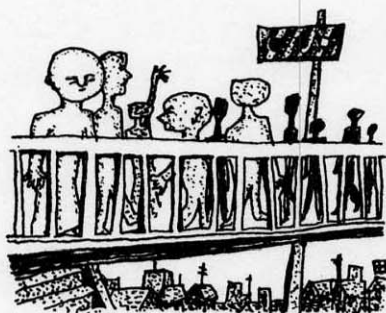
多々内 私が交通安全指導を始めてもう十七年になりますが、現在岡崎市に二八〇名

位の交通安全指導員がおります。その人達が毎日通園、通学路に立つて子どもたちの安全を守っているわけです。

学区ごとに分会を作っており、この人達の話聞く機会も多いのです。学校幹部の方と、指導員との対話のある学校もありますし、あまり対話のない所もあるようです。先生方にお願ひしたいことは、一度、子どもたちの通学路を歩いてみていただきたいということですね。そうすれば自然に安全施設に対する要望も出てくると思ひます。

山内 学校側としても指導員の方との連絡を密にして、子どもたちの安全を守るべきですね。子どもの事故件数は、昨年はどうでしたか。

古林 事故全体は昭和四十七年より四十八年の方が件数、死傷者とも大幅に減少しております。



全事故中の子どもの事故数

対象別	被害別		死者	傷者	計
	S. 47年	S. 48年			
全事故	S. 47年		38	2347	2385
	S. 48年		30	1977	2007
子ども事故	S. 47年		5	346	351
	S. 48年		6	317	323

子どもの月別事故発生状況 (48年)

被害別	月別											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
死者			1	1	2	1	1					
傷者	22	15	19	41	36	26	27	43	33	16	25	14
計	22	15	20	42	38	27	28	43	33	16	25	14

多々内 子どもの事故については、私の経験から申し上げたいことは、登下校の指導の徹底している学校の子どものは、下校後の事故も少ないということです。これは確信を持って言えます。

○ 下校時の指導

山内 登校は各小学校とも集団登校してはいますが、下校に問題があるように思いますが。岡崎小学校はどうしていますか。  
山本 日曜日と土曜日は一斉下校で、他の日は学年下校です。父兄の関心も高くなりまして、今では危険な箇所に出て指導していただいております。

古林 私も下校を非常に心配しております。以前目撃したのですが、朝雨が降っていて帰りに晴れた時、長靴の中にわざ

わざ水を入れて歩いているのです。その上、道いっばいに広がって傘でチャンバラをやっています。こういう無邪気な子どももいるからなお安全に気を配ってやらねばと思われました。下校後の指導をぜひお願いします。

山内 根石小学校ではどうですか。  
山田 下校時には気もゆるみがちです。で、いろいろ気を配っております。帰りの会で誓いのことばを言わせたり、必ず注意のことばを先生がかけるとかしています。

多々内 私などが子どもたちの下校時に車を運転している時など、道いっばいに広がって困る時もあります。また、指導員として、子どもたちがあぶない歩き方や、自転車の二人乗りなど交通ルールに違反していた時など、交通カードを渡しております。あぶなかつた事項を書き入れて、父兄とか先生に見てもらおうという形をとっています。この点もよろしくお願いいたします。

山内 いろいろ気を配っていただいておりますがとうございます。週に一度は通学路を自転車などで逆走して、下校の子どもの指導する機会を作りたいと思っております。

古林 次の表をご覧ください。これは、昨年一年間の記録です。

ご覧になっておわかりのように曜日は土曜日、時間では午後四時から六時までが事故多発です。この点など父兄の皆さんにもぜひお伝え願いたいものと思

ます。PTAの皆様の意識の高揚も事故防止のために必要ですので、学校の方もよろしくお願いします。

子どもの交通事故発生時間・曜日表

時間別	人数	曜日別							計
		月	火	水	木	金	土	日	
6時以前	0								
6~8	18								
8~10	22								
10~12	36								
12~14	43								
14~16	51								
16~18	104								
18時以後	49								
計	323								

○ 校内の事故防止について

山内 これは私の持論ですが、校内の事故防止について考えたいわけです。校内で子どもたちの通る所と、車の通る所はぜひ分離したいと思えます。市としてはどうですか。

柴田 校内での人・車の区別は、私は最終的にはそうあるべきだと思えます。しかしそれが、交通安全の教育用とか、実習用なら教材になります。予算の点で問題がありますが、ご期待にそえるよう努力したいと思えます。

○ 通学路の決定について

多々内 学校側にもう一つお願いしたい事に、通学路の問題があります。この改定に当たっては、学校側でも一度歩いて安全を確認していただき、問題点があり

ましたら、警察の方へ具体的に要望してほしいと思えます。

柴田(徳) 通学路を決定する場合に、学校側と交通指導員とか警察の方と話し合う機会が持て、何等かのアドバイスをお願いできるとありがたいですね。

古林 それを私もいいのです。私の方もいろいろデーターがありますので、通学路を決定される前にぜひご連絡ください。係の者が必要な対策を加えて通学路にしたいと思えます。現在実施している交通規制は、子どもと老人とを守ることに主になっております。学校やPTAも強く発言して警察に要望してください。子どもの事故は絶対にみんな守ってやりたいと思えます。

(文責・柴田徳三)





## 作文指導の原点

中村万三先生の講演から

先年の暮れ、東海中学校から研究発表会を開くから何か話してくれ、題目はなんでもよいからといわれたとき、わたしの頭に浮：んだのは、作文指導の原点<sup>①</sup>ということばでした。

「原点」というとなにかむつかしいへ理屈をこねるように聞こえますが、むつかしいへ理屈のための用語として考えるのではなくて、もつと素朴な本質的なものを直感によってつかもうという意味を表わすことばです。原点ということばの意味、ことばの示すものを、作文指導の場合でも失わないでいきたいという気持ちを含めたことばとして流行を追うとか、ちよつとむつかしそうなことをいつて自己満足をするという意味では決してありません。

わたしは、昭和八年から出発して四十年間、後藤（金好）先生をはじめ、先輩の先生方からのご指導をいただきながら、やりたいことをやってきました。ところが、最近、このへんで自

分の足跡を振り返ってみて、いったい何がつかめたのか、さらにこれから先、できるとしたら何をやっていったらいいかを考える時期になってきたらしくてわたしが進んで書いたもの、書かされたものなど、三つ四つ振り返ってみますと、それらのどこかに、必ず原点的なものをもう一度考え直してみようという意識が働いていたのに気づくのです。

いろいろむつかしいことを言つて、何か新しい一つの道を切り開いたようないい方をしている人もありますが、そんなことより、もつと素朴でもよろしい、これだけは忘れてはならないぞという、そういうものは何かを考えてみようとして、わたしはやってきたようです。

よく考えてみますと、最近の傾向ではなくて、青年教師時代からそんなことをぬきにしてはものを考えることができないう傾向があるらしいと気づきました。東京へ出ましてから、こちら

の地域の先生方がグループで研究をしてみえるところを拝見しても、やはり、どこかに本質的に一度考え直してみる。そこから自分のやろうとしている研究を發展させてみようという思考がある。どうも、これはわたし個人の問題だけではなくて、いわゆる郷土的な共通の思考じゃないかと感じるのです。

このあたりの地域で、なにかひとつのことを考えてみようとする、本質的なものをぬきにしてその先のことをやっていったのでは、なんとなく釘がぬけたみたいに感じて、自分なりに満足や、納得できない。こんな傾向が共通におたがいさまあるように思えるのです。みなさんいかがでしょうか。（後略）

本論の講演要旨は、先生自身が用意された印刷物が東海中学校にありますがご連絡ください。

（文責東海中現職教育部）

## 図書紹介

### 詩集 おかあさん

サトウハチロー  
R社 セット1200円  
たくさんのたくさんのおかあさんがいて  
たくさんのたくさんのこどもがいます  
そのたくさんのたくさんのおかあさんと  
たくさんのたくさんのこどもさんたちへ  
ボクはこの詩集をささげます。  
初版が昭和36年1月、現在なんと394版が出されている。わたしはこれ程の本を他に知らない。  
わが家では、甥、姪へのお年玉をこの詩集にした。みんなで読める日本一の母の詩集と思う。

（本宿小 伊藤 安彦）

### 女の子の躰け方

浜尾 実  
光文社 350円  
数か月前、初めて女兒の母となり再読した時、著書の強い信念が胸に迫ってくるのを痛感した。  
女の子が中性化しつつある現在、女の子が生まれながら持っている感受性の豊かさや思いやりなど、親や教師はどれだけ考えているだろうか。  
この本は、その芽を伸ばす躰のあり方がひとつひとつ具体的に示されており、同時に真のやさしさとは実はきびしいものであることを教えてくれる。親として、教師として、このことを頭において子どもを育ていきたい。

（六つ美北部小 近藤 正代）

### 科学することの楽しさ

△洞穴学ことはじめ 吉井良三  
岩波書店 150円  
△昆虫学への招待 石井象二郎  
岩波書店 150円  
△高崎山のサル 伊谷純一郎  
講談社 260円

科学者が研究歴を自伝風に著述したものに魅力を感じる。暗中摸索しつつ研究を掘り下げていく過程が詳細に描かれているばかりではない。科学史的読み物や伝記にないもの一科学することの楽しさ——を感じることが出来るからである。

（福岡小 竹内昭次）



## 愛教大跡地に国立の研究所群

### —五十年ますます分子科学研究所開設—

愛教大跡地へ誘致を働きかけていた文部省構想の国際的な「学術研究所群」の設置が決まり、宙に浮いていた「文教都市岡崎」のポイントがようやくはつきりすることになった。

本市はもろろん関係市町村挙げての多年の悲願であった。しかし、関係者の努力にもかかわらず解決をみないままであったところ、昨年になり、文部省に学術会議の要望による学術研究所群設置の構想のあることがわかった。市長を先頭に市議会の大学誘致特別委員会等が強力に働きかけた結果、年末の政府予算編成の最終段階で、まず分子科学研究所の創設準備費が認められたもので、文部省は、近く教授一人を含む三人のスタッフを構成し、五十年年度開設の予定で準備を進めることになった。

#### 【刊行あんない】

◇生活綴方の道程 後藤金好著  
著者の四十年余にわたる綴方教育の実践と思索の集大成。季刊誌「形成」に創刊号以来連載して大きな反響を呼びおこした論文が中心。A5判、箱入上製本、四〇〇P、形成の会発行

#### ◇おかざきつ子の造形—おかざきつ子展十年のあゆみ—

現職教育園工、美術部編 十回展までの実践の歩みを洗練された編集でまとめた、見て読んで楽しい写真集。図版、装丁ともに美しい。展覧会や文化祭に携わる現場教師必携の本。

■緑化コンクール上位独占  
県緑化推進委員会主催の四十八年度県学校環境緑化コンク

②常磐中Ⅱ福山市走島中学校と。同校は瀬戸内の小島にある三学級の小規模校。親善都市の山と海の学校を結ぶためまず生徒会活動の交歓、連絡から始める。

これで、引き続き基礎生物学研究所、生理学研究所も誘致される見通しが明るくなったわけだが、新規事業抑制がきびしくいわれた中だけにこの誘致は画期的な成果として市内外から大きな期待が寄せられている。

なお、研究所群完成のあかつきは、各界第一級の学者、研究家数百人の来岡が予定され、文教都市岡崎は文字どおり国際的な学術研究都市を約束されることになった。

①生平小Ⅱ山口県豊浦郡豊田下小学校と。ともに国指定のゲンジボタルの生息地にある学校。観察記録の交換などを通して保護活動を励まし合う。

■次々に姉妹校提携すすむ

## 48年度市内小中学校児童・生徒の発育状況（身長と体重）

平均	男女別		男 子						女 子									
	年令別		6	7	8	9	10	11	6	7	8	9	10	11				
	身長 (cm)	体重 (kg)																
48年度岡崎市平均	114,2	20,1	120,3	22,8	125,3	25,0	130,6	27,7	135,0	30,5	140,6	34,1	145,5	37,9	150,4	41,5	155,3	45,7
前年度岡崎市平均	114,5	20,2	119,7	22,2	125,3	24,8	129,9	27,4	134,9	30,6	140,3	33,9	145,8	37,9	150,7	41,7	155,6	45,9
38年度岡崎市平均	112,4	19,0	117,5	21,1	123,1	23,4	127,5	25,5	132,4	28,1	137,2	30,9	142,1	34,7	147,0	38,5	151,9	42,3
47年度全国平均	115,2	20,4	120,5	22,8	125,9	25,3	130,9	28,0	135,8	31,3	141,1	34,7	146,0	38,5	150,9	42,3	155,8	46,1
47年度愛知県平均	115,0	20,4	120,3	22,6	125,6	25,0	130,6	27,9	135,6	31,1	140,6	34,5	145,5	38,5	150,4	42,3	155,3	46,1

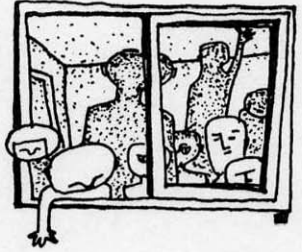
平均	男女別		身 長 (cm)						体 重 (kg)					
	年令別		男 子			女 子			男 子			女 子		
	12	13	14	12	13	14	12	13	14	12	13	14		
48年度岡崎市平均	147,3	154,7	160,7	148,4	152,2	153,7	38,8	44,3	49,5	40,7	45,1	48,4		
前年度岡崎市平均	147,1	154,1	160,9	148,1	151,8	153,9	38,6	44,0	49,8	40,5	45,0	48,2		
38年度岡崎市平均	143,5	150,1	157,0	144,5	149,0	151,8	35,1	40,3	45,9	37,0	41,7	45,5		
47年度全国平均	147,8	154,9	161,2	149,0	152,6	154,5	39,5	44,9	50,4	41,5	45,7	48,8		
47年度愛知県平均	147,4	154,6	161,0	148,4	152,2	154,2	39,0	44,4	49,9	41,1	45,4	48,3		

## 窓

教師と篤農家 伊沢 昭

教師という職業は、生きた人間を教えるということ、まことにむづかしい。

教師以外に、もう一つ生きたものを育てる職業がある。それは、お百姓さんである。あるお百姓さんは、種をまいて実を結ぶまで、自然のままに



育てる。

また計画的に日夜精励して育てるお百姓さんもある。篤農家であるか、なまけ者の百姓であるかは、一年の成果、実りでは

つきりする。

教師も一年間、自分なりに懸命に努力したかしないかで、それなりの成果がでていいはずである。

お百姓さんの作物を育てる農業愛、私たち教師の人間を育てる教育愛、同じように考えてみる事が大切なのではなからうか。

研究も努力も際限がない。教師という職業の、きびしさを思うこの頃である。

(六ツ美南部小)

## 編集後記

●：何かとあわただしいこのごろである。

吹く風はやけに冷たい。マスコミは暗いニュースを伝える。時代は激動のただ中にあるというのか。

このような時であればこそ、この灯を絶やしてはならないと思う。この灯をいつそう燃え上がらせたいと思う。教育

者としての使命を自覚すべきだと思ふ。

「子どもの生命と安全を守る」を本号の特集とした理由もそこにある。

●：風の日、雨の日、街頭で安全通学に尽力してくださる各層の方々に紙上を借りてお礼申しあげたい。

●：本号のカットは、矢作中学校隅田重次先生にお願いした。

## 2月の行事

日	曜	行	事
1	金	教頭研修会(常磐東小・城北中)	中国青年代表来岡(連尺小・市役所)
2	土	岡崎小百周年記念式	研究委託生論文提出期限
3	日		
4	月		
5	火	六ツ美北部小研究発表会	月報編集委員会
		文部省金原視学官教育事業視察(藤川小・竜海中)	
6	水	教務主任研修会(竜城会館)	愛護センター運営委員会(市役所)
7	木	市内小中学校造形展(11日まで美術館)	
8	金	49年度研究発表校打合せ会	養護教諭研究協議会(愛知青年の家)
9	土	第7回全国子ども会中央会議(広島・福山市)	
10	日	卓球ランキング戦(市民体育館)	
11	月	建国記念の日	
12	火	第2次校長面接(16日まで)	社会教育審議会
		第14回岡崎市民スキー大会(長野県)	
13	水	学習研究部会「石川勤先生講演会」	(市役所)
14	木	定例教育委員会	
15	金	校務主任研修会	
16	土		
17	日		
18	月		
19	火	教務主任会	学校開放事業連絡協議会役員会(市役所)
20	水	定例校長会(甲山閣)	海外研修報告会(岡信中央支店)
		岡崎市婦人のつどい	(市民会館)
21	木		
22	金		
23	土	岡教組定期大会	家庭婦人バレーボール講習会(甲山中)
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		